

仲子、直ぐまた來ますから、短氣を起しちや可けませんよ。(仲子退場)

初枝、其の後影を伏拜む。三浦起つて帽子を拾ひ、其の中に入れありし袱紗包み、力を一杯初枝に投付け、憤然去らんとす。

初枝、如何にも取付きかねて、其れは貴方！先刻上げやうと思つた毒藥ですよ。

………耳朶に蓋して下すつたぢやなくツて？ ………ぢやアもうどりしても

貴方は、私を信じて下さらないの！

三浦、(徐ろに歩みつゝ、吐く如く) 信ずる力を奪はれたから。

初枝、ぢやアもうごんなに誓つても！

三浦、誓ふことは身の毒藥でせう。

初枝、そんなら、方法を誤つた努力も亦毒藥ですよ！

三浦、人事を盡して天命を俟つさ！！

小説  
曉  
終

初枝、餘り獨斷で、後からお悔みななさいませよ!!! (と茫然絶望に沈む)

暮色蒼然として、夕風いとど淋しく梢を拂ふ。(幕)

大正二年四月廿五日印刷  
大正二年五月一日發行

曉 附  
定價金九十錢  
郵稅八錢

著作  
權  
所有

著者兼  
發行

東京市日本橋區本銀町二丁目一番地  
黑 瀬 才 二

印刷人

東京市神田區末廣町十八番地  
土 岐 留 吉

印刷所

東京市神田區末廣町十八番地  
梁 山 閣

發行所

東京市日本橋區本銀町二丁目一番地  
振替口座東京  
四四九六

興 樂 房

## 地方讀書家の福音

### 送費無料の取次販賣!

○興樂房は七年有餘前の創業で、爾來書籍購讀に不便を感じ給ふ諸士の爲めに、既に萬朝報其他の廣告で御承知の通り送費無料取次販賣を營んで居ります。

○弊店は確實懇切且つ迅速を旨としますから逐年多大の顧客を有して居ります。

○御用の品は何處出版を問はず書名と發行所を明記の上「東京四四九六」へ代金を振替拂込み下さらば直に貴需に供します。

○郵券でも割増に及びませんが、醫書と洋書は例外です。普通書籍でも内地以外は通常郵税の半額を申受けます。

確實至便な取次販賣!

東京市日本橋區本銀町二丁目番地

書肆興樂房

(振替口座東京四四九六)

島崎藤村序  
鏑木清方畫

黒瀬二水著

小説  
**相愛記**

四六判頗る美本

二百九十六頁

定價六十五錢

本書は著者の處女作にて、夫れ相當の辛勞を嘗めて一足飛びに出した長篇小説である。當時文壇の評には餘り上らなかつたが一部の讀者に強い印象を與へたもので、處女作として技量を示すに十二分のものだと歓迎されたのであつた。本書の讀者には是非御一讀を仰ぎたいが、目下は賣切れ中なので何れ發賣の節迄は御用命に應ぜられぬは吳々も遺憾である。

**發行所**

東京市日本橋區本銀町二ノ一  
振替口座東京四四九六

書肆興樂房

272  
769

終

